

## 平成 20 年度 事業報告

### 概 況

平成 20 年度経済は、昨秋の米国・リーマンショックによって「100 年に 1 度」といわれる世界同時不況に突入、我が国の実質国内総生産（GDP）成長率も政府見通し、及び民間シンクタンクの予測もマイナス 3%以上と戦後最大の経済危機に見舞われた。政府は 21 年度も名目マイナス 3.0%と 2 年連続のマイナス成長を予測している。景気回復の見込みも薄く、下げ止まったままの L 字形の低迷との見方が大勢を占める。

加えて、原油など一次産品価格の乱高下、対ドル円高、株価低迷により企業・消費者マインドは悪化してきた。格差の拡大、社会的凶悪犯罪の増加、地方経済の疲弊さらに失業率は 4%を超え、派遣切り、内定取り消しといったショックキングな雇用情勢も問題となった。洞爺湖サミットで提起された低炭素社会への努力、地球温暖化といったグローバルな環境問題も対応を迫られた。

一方、政局は衆・参議院のいわゆる『ねじれ現象』、とりわけ福田首相の突然の辞任、麻生首相の誕生とあわただし動きを見せ、定額給付金、年金改ざん、後期高齢者医療制度等、課題が山積し、麻生政権の支持率は大きく下落し、政権交代が俎上に上ってきた矢先に民主党・小沢代表の秘書逮捕で風向きが変わる。という不透明な政治状況が続く中、国際的に猶予のない時期に国政が方向性を見出せないで推移した。他方、米国ではオバマ新大統領の登場に大きな期待が寄せられている。

さて、印刷産業では、平成 19 年の工業統計速報値で総出荷額 7 兆円を超え、20 年中央までは順調な回復ぶりを見せた。東京グラフィックスの総出荷高も 19 年度は、会員減少にもかかわらず、対前年 2.9%増、1 社あたり 5%増と明るさを取り戻しつつあったが、20 年度後半から、経済全体の冷え込み、市場の急速な縮小が顕著となったことで、急速に「仕事がない」という状況にまで陥った。経済産業省がまとめた 1 月の従業者 100 人以降の印刷業の生産金額は、前年同月比 12.7%と 4 ヶ月連続の減少となった。

印刷関連資機材の生産統計をみてもインキ、用紙、フィルムそして印刷機械は 10 月以降、いずれも軒並み落ち込んできた。とりわけ、印刷関連機械の統計生産金額は、20 年 1 月に比べ 21 年 1 月は、57.7%と極端な落ち込みを見せた。（経済産業省・機械統計による）

しかし、6 月に世界最大の印刷機資材展 drupa2008 が 4 年ぶりにドイツで開かれ、“インクジェット drupa”と云われるように、新しいインクジェット技術に注目が集まった。

需要構造の変化が続く中、IT の進展により、印刷需要の質的变化は、メディア全体の変化として深刻な出版不況、チラシの減少等が印刷業の業態変化を促してきている。また、インターネットと携帯電話の飛躍的伸長、エリアマーケティングの台頭、マーチャンダイ

ジングの見直しをはじめ、形を変えた「広告・宣伝」への対応も避けて通れなくなっている。環境対応としては、日印産連によるグリーンプリンティング制度（GP マーク）の定着、大気汚染防止法改正等により VOC 規制が強化された。一方カーボンオフセット実施の流れは新しい動きである。

ジャグラでは、インターネット放送「ジャグラ BB」が年度半ばから会員一律月額 500 円で視聴でき、全国各地の「情報格差」解消が進み、経営・教育・技術面で有効活用が一層図られることとなった。民営化した郵便局による年賀状への名入れ印刷サービスをジャグラグループが受注できたことは大いに注目された。個々の会員企業の経営指針ともリンクするジャグラ・ビジョン 2010 の活用も進んだ。また、プライバシーマーク付与指定機関として、全国的に個人情報保護の推進を図っている。これまでの付与認定数は 200 社に近づいている。

9 月に山田新体制が発足し、今期から環境、市場開拓委員会等が常設され、会員への直接的なメリットの提供に努めている。

東京グラフィックスは、前期を引継ぎ、「顧客価値を追求する熱い集団」をスローガンにキャッチフレーズを『顧客感動』とし、新しいマーケットの創造を模索することとした。委員会体制は、経営革新・環境委員会、Web 戦略委員会、次世代事業委員会、総務委員会とカラー印刷技術委員会と個人情報保護委員会はジャグラとの合同委員会とし、ジャグラとの協働化を進めた。自主研究会活動では、「Web ビジネス開発研究会」「QR コード商品研究会」「社長講座」がある。他に「女性の会レインボウ」「次世代の会」「悠遊クラブ」等が活動している。

組織面では、本年度は 6 月までに 12 社が加入したが、以降退会者が相次ぎ 22 社入会 48 社退会で 432 社に後退した。ただし、ジャグラの減少幅はもっと大きく、その中で東京の構成比率は 38%となった。

東京グラフィックスの事業面は、マーケティング活動の強化について、各種研修会、年度内に 3 回開催した会員企業による『明日へのコラボレーション展』（経営革新・環境委員会主催）、自主研究会が主催する QR コードや Web 関連ビジネスの紹介等で、会員企業の活性化を促すと共に会員間の作業交流・ネットワーク強化を打ち出した。

CSR についてもキヤノンマーケティングジャパン(株)の協力の下、連続セミナーを開催した。

次世代事業委員会による各種人材育成研修や税務セミナー、都立中央・城北能力開発推進センター（旧・飯田橋技術専門校）とタイアップした向上訓練を実施し、若手経営者のための情報交換、都内印刷団体青年部と共同で一般向け PR も実施した。

技術面では、カラー印刷技術委員会（ジャグラと合同）において、drupa2008 の技術セミナーと、技能継承をテーマとしたセミナー（「PRIMEDEX TOKYO 2008」におけるパネルディスカッション）を実施した。

個人情報保護委員会を中心にプライバシーマークの付与認定活動を強化、1 年間で 50

社を超える新規及び更新の申請を受け付けた。因みに、3月までの当会会員の付与認定事業者数は延べ85社にのぼる。セミナーは9月に「PRIMEDEX TOKYO 2008」会場で実施した。

同時に、認定個人情報保護団体として、個人情報保護法に基づき、都民・一般消費者から個人情報に係る苦情・相談を受け付けた。一般消費者・都民の権益保護、さらに会員企業の信用を増すこととなった。2月にはセミナーを実施した。

環境問題では、リーフレット「STOP!地球温暖化 わたしたちは地球防衛軍」を作成、会員への啓発を行った。また、環境に配慮した環境見学等を実施した。

9月には隔年で東京の印刷ユーザー団体が主体で実施する「PRIMEDEX TOKYO 2008」を池袋・サンシャインで開催、その主催者の一翼を担い運営に尽力した。

なお、12月から公益法人改革による法改正が行われたが、当会としては、一般社団か公益社団かの選択は次期に持ち越した。

財政問題については、プライバシーマーク付与認定事業による収入は順調だったが、支出は抑えたものの、会員の減少、広告収入の減少等によって2期連続の赤字決算となり、厳しい運営となった。

事務局機能については、ジャグラ事務局へ経理面での委託をはじめ、合理化に努めた。今後とも情報提供、委員会活動の充実に努め、職員の負担は増し、会員企業へ多少のサービス縮小はあるものの、会員サービスにはきひ続き努力していく。

東京グラフィックスでは以上のような厳しい状況で推移したが、事業計画に掲げた計画は概ね遂行し、今期を終えた。以下、公益的事業、事業毎に報告する。

## 事業報告

### 公益的事業の推進

会員企業による印刷を通じた社会貢献をはじめ、東京グラフィックスでは、都民の雇用促進とその環境整備、個人情報保護さらに公害防止・環境対応の面で公益的事業を推進した。

都民への印刷の普及では、都民への印刷技術の公開及び情報発信を東京グラフィックスホームページの逐次更新によって、一般都民へ広く公開し、印刷技術の紹介等を行った。同時に、9月のPRIMEDEX TOKYO 2008では業界PRを展開し、会員企業自らの情報発信を支援した。

都民からの印刷に関連する多様な相談・質問については、会員企業・事務局が対応した。

都民の雇用創出は、都立中央・城北職業能力開発センターからの求職活動である合同面接会(9月、2月)への参加、その他、東京都中小企業団体中央会の若年者雇用促進の研究会へも参画した。

個人情報保護については、都民・消費者のプライバシー保護に努めるために、プライバシーマークの付与指定機関として（前期よりジャグラーが付与指定機関に）、会員企業からの申請を受け、プライバシーマークの付与審査を行うとともに、経済産業省の認可を得ている認定個人情報保護団体としての活動を行い、苦情及び相談に預かることとなった。苦情は1件もなかった。

公害防止・環境対応では、「STOP!地球温暖化 わたしたちは地球防衛軍」（リーフレットA4版4ページ）の作成・活用をはじめ、環境見学会、各種広報活動を通じ、環境を守る啓発活動に努めた。

## 事業報告

項目の（ ）内は所管委員会名。

### 1. 企業経営および技術に関する調査研究（1号事業）

「マーケティング・販路拡大・新商品開発」の研究・実践（経営革新・環境委員会）  
会員相互のコラボレーションによる新市場開拓・新商品開発を目的として、会員企業の保有するオリジナル商品・アイデア商品や、特殊加工・専門技術等を紹介するために、「アイデア・ビジネス大集合！明日へのコラボレーション展」を3回開催した。また、内容は機関誌「東京グラフィックス」7月号、9月号で紹介した。

- ・6月18日(水)/ニッケイビル8F会議室/出展4社/参加者45人
- ・8月26日(火)/ニッケイビル8F会議室/出展4社/参加者45人
- ・2月25日(水)/ニッケイビル8F会議室/出展2社(マーチャンダイジング・セミナー併催)/参加者42人

機関誌「東京グラフィックス」11月号に、「PRIMEDEX TOKYO 2008 ビジネス交流フェア」のレポート(鍛冶隆)を掲載した。

会員企業が顧客や一般都民・消費者へ配布できる営業ツールとしての「お客さま向けニュース」を企画・製作し、このデータをホームページにアップして、会員企業が適宜ダウンロード・加工・出力できる仕組みを提供した。

- ・Vol.1(2008年6月)「製紙会社がそろって値上げを通告」
- ・Vol.2(2008年8月)「PRIMEDEX TOKYO 2008 にご来場ください」
- ・Vol.3(2009年2月)「『経営セーフティ共済』をご存知ですか？」

モノがモノとしての価値だけでは売れなくなった成熟市場では、発注者の心理を理解した新たな価値開発が必要とされるという見地から、顧客の心理をつかみ、分析し、それを戦略化するために、どうアプローチしていくか？ という心理学的マーケティング＝「お客さま学」を考えるため、マーチャンダイジング・セミナーを開催した。

- ・2月25日(水)/ニッケイビル8F会議室/参加40人
- ・テーマ:もっと仲良くなるための“お客さま学”勉強会
- ・講師:水野勝弘氏(帝京平成大学准教授)

印刷関連技術の調査・研究（経営革新・環境委員会、Web 戦略委員会）

<経営革新・環境委員会>

機関誌「東京グラフィックス」11月号に、「PRIMEDEX TOKYO 2008 にみる印刷技術の最新情報」（鍛冶隆）を掲載した。

機関誌「東京グラフィックス」9月号に、「ユビキタス化がもたらす消費行動の変化」（平成20年版「情報通信白書」から抜粋）を掲載した。

社長講座

Web を活用したオンデマンド印刷技術に関するセミナーを開催した。

- ・7月4日（金）/ニッケイビル8F会議室/参加24人
- ・テーマ：経営者として知っておきたい「Web ビジネス最新事情」「オンデマンド印刷で儲ける方法」
- ・講師：笹岡誠氏（有ドゥ・プラン）

オンデマンド印刷のビジネス事例を見学するために、(株)オーディーピーセンター見学会を開催した（11月26日（水）/参加23人）。

<Web 戦略委員会>

機関誌「東京グラフィックス」11月号～09年1月号に、「近未来印刷ビジネスモデル研究」をテーマに「GIS を使った新しいマーケティング手法」（新田正則・笹岡誠）を連載した。委員会内で、委員によるミニセミナーを3回開催し、企業紹介を行った。

印刷経営関連問題の調査・研究（次世代事業委員会）

経営幹部セミナーを開催した。内容は、機関誌「東京グラフィックス」12月号、1月号で紹介した。

- ・11月13日（木）/井門小伝馬町ビル会議室/参加25人
- ・テーマ：決算書を根拠にした経営管理手法とは
- ・講師：三尾隆志氏（三尾会計事務所）

機関誌「東京グラフィックス」7月号～11月号に、「異業種にみる企業再生とは！」（三尾隆志）をテーマに連載した。

カラー印刷標準化、カラーマネジメント技術の研究・啓発（カラー印刷技術委員会）

drupa2008 を受けて、今後の印刷ビジネス・技術の潮流に関するセミナーを開催した。内容は、ジャグラ BB で放映しているほか、機関誌「東京グラフィックス」8月号で紹介した。

- ・8月4日（月）/ニッケイビル/参加30人
- ・テーマ：drupa2008 にみる「印刷ビジネスの今後」
- ・講師：村松礼二氏（MSE 事務所）

PRIMEDEX TOKYO2008 において、カラー印刷技術の継承に関するパネルディスカ

セッションを企画・運営した。

- ・9月20日(土) / サンシャインシティ・コンベンションセンター / 参加 115 人
- ・テーマ：印刷におけるデジタル環境とアナログの継承
- ・コーディネーター / 濱照彦氏 (JPA 学校長)
- ・パネリスト：照井義行氏 (こだま印刷㈱)、山田一則氏 (日経印刷㈱)、白井正氏 (望月印刷㈱)

機関誌「東京グラフィックス」10月号～12月号に、「ISOと印刷」(三浦澄雄)をテーマに連載した。

#### 原価意識高揚事業と官公需入札の改善 (経営革新・環境委員会)

東京都が平成18年8月に発注する印刷物の全てを請負契約としたが、その後、最低制限価格制度、低入札価格調査制度の導入を要望しているが、改善は図られていない。原価意識の高揚については、市況の低迷を背景にコスト割れの受注が多く、一方で用紙をはじめとする資材の値上げで、コストプッシュ要因は多く、業界全体に危機感は高まっている。

機関誌「東京グラフィックス」2月号から、「原価管理と原価低減策」(竹本次郎)をテーマに連載を行っている。

#### 労務環境整備事業 (経営革新・環境委員会)

会員企業の労務問題について、「東京都両立支援推進助成金」「JOYLANDO」「最低賃金改定」等の周知や、「最低賃金法の一部を改正する法律」など法規改正情報を機関誌、メールニュースで随時会員に伝えた。

機関誌「東京グラフィックス」8月号に、「働く人の意識と社会の課題」(平成20年版「労働経済白書」から抜粋)を掲載した。

「PRIMEDEX TOKYO 2008」(9月18日～20日 / サンシャインシティ・コンベンションセンター)の「印刷ビジネス交流フェア」内の東京グラフィックスブースにおいて、平成20年度・労働時間等設定改善推進事業(労働時間短縮プロジェクト)のPRを、報告書、パンフレット配布及びパネル展示をしておこなった。

機関誌「東京グラフィックス」2月号に、平成20年度・厚生労働省 労働時間等設定改善推進事業(労働時間短縮プロジェクト)の総括と、会員企業からの問い合わせについてQ&A方式で紹介した。

平成19年度の上記「労働時間短縮プロジェクト」で開催した、「IGAS2007」での『ワーク・ライフ・バランスセミナー』の模様を、全国団体・社団法人日本グラフィックサービス工業会が運営するブロードバンド動画配信サービス「ジャグラーBB」において放映し、労務環境整備のための好事例を紹介した(平成21年3月まで)。

#### 個人情報保護の研究 (個人情報保護委員会)

<個人情報保護委員会>

平成19年5月から社団法人日本グラフィックサービス工業会がプライバシーマーク付

与指定機関となったが、今期も東京グラフィックス会員企業はジャグラ地方会員と区分して東京グラフィックス事務局員による審査を実施した。現在、認定企業数 79 社（今期の新規・更新数 = 新規 10 社、更新 33 社）。なお、委員会の要請で今後、東京と地方を明確に区分することなく、双方の審査員が相互交流し、審査レベルの均一性を図ることとした。

平成 19 年秋に、プライバシーマーク付与会員事業所で個人情報の流出事故が 4 件発生したことから、平成 21 年 2 月に注意を喚起するセミナーを実施した。

また、平成 20 年 9 月には PRIMEDEX TOKYO 2008 で個人情報保護法セミナーを実施し、参加者 75 人を集めた。個人情報保護法の説明から、経済産業省のガイドライン、個人情報のライフサイクル、顧客・一般からの苦情・相談受付を開設し啓発活動を行った。上記セミナーの内容を収録し、ジャグラ BB にて放映している。

#### < 認定個人情報保護団体 >

東京グラフィックスは、個人情報保護法に基づく認定個人情報保護団体（経済産業大臣認可）として、一般都民・消費者、会員企業からの苦情・相談を預かることになっている。今期の苦情は 10 件、相談件数は 10 件を数え、事務局が対応した。

平成 21 年 2 月 16 日に、ニッケイビル会議室において、認定個人情報セミナーを開催した。参加者は 40 人。印刷会社における事故事例を教訓、安全管理措置の徹底、認定個人情報保護団体の役割等を解説した。

#### 東京グラフィックス青年部『次世代の会』の運営と関連団体青年部等との連携

（次世代事業委員会）

青年部『次世代の会』全体会議を、7月9日（水）にニッケイビル 8 階会議室において開催した。同会場で全体会議セミナーとして『インクジェット方式における POD の新提案』及び『印刷ビジネスにおける近未来モデル』の 2 本立てで開催した。講師は前者が市村直行氏、後者が笹岡誠氏。また、全体会議終了後、ビジネス交流を意図したサロン形式の情報交換会を開催した。参加者は 30 人。

印刷産業青年連絡協議会が主催する「印青連見本市」が 3 月 7 日（土）、浅草橋・東商センターにて開催され、東京グラフィックス次世代の会として運営に参画した。東京グラフィックス会員からの出展は、(株)共栄メディア（新宿支部）、(株)ダーツ（文京支部）、(有)ドゥ・プラン（城西支部）。

#### CSR の研究（経営革新・環境委員会）

顧客や一般都民・消費者に対する CSR（Corporate Social Responsibility = 企業の社会的責任）について、セミナーを 2 回開催した。内容は機関誌「東京グラフィックス」5 月号に掲載した（第 2 回は 09 年 5 月号予定）。

（第 1 回）

・ 4 月 17 日（木）/ ニッケイビル 8F 会議室 / 参加 25 人

- ・テーマ：いま求められる企業の CSR
  - ・講師：キャノンマーケティングジャパン(株)
- (第2回)
- ・3月11日(水) / ニッケイビル 8F 会議室 / 参加 20 人
  - ・テーマ：環境への取り組みと CSR
  - ・講師：キャノンマーケティングジャパン(株)

Web 活用の戦略研究と実践 ( Web 戦略委員会、経営革新・環境委員会 )

< Web 戦略委員会 >

機関誌「東京グラフィックス」6月号に、「中小企業による IT の活用」(平成 20 年版「情報通信白書」から抜粋)を掲載した。

機関誌「東京グラフィックス」3月号~5月号に、「近未来印刷ビジネスモデル研究」をテーマに「Web を利用した印刷ビジネスモデル」(笹岡誠)を連載した。

Web2.0 の動向に関するセミナーを開催したが、Web2.0 の歴史が述べられるにとどまった。

- ・7月31日(木) / ニッケイビル / 参加 35 人
- ・テーマ：Web2.0 の進展
- ・講師：田中明氏

< 経営革新・環境委員会 >

Web ビジネス開発研究会

印刷専門のポータルサイト「グラ天」(graten.jp)を運営し、Web to print 及び Web to video についてビジネスモデルの研究をおこなった。

「ビジネス交流名簿」の拡充と Web での公開 ( 総務委員会 )

会員企業の保有する、会員相互のビジネス交流に活用できる技術・設備をはじめ、オリジナル商品・アイデア商品や、特殊加工・専門技術等のデータを収集するため、アンケート調査を行っているが、回答企業は 34 社にとどまっており(09 年 4 月末日現在)、引き続き回答収集を図っていく。データはエクセル形式でホームページにアップすることで、会員企業の情報共有を図る予定。

その他 ( 経営革新・環境委員会 )

社長講座

勉強会「経営者として知っておきたい“年金”(Part 2)」を開催した。

- ・3月4日(水) / ニッケイビル 8F 会議室 / 参加 15 人
- ・テーマ：年金問題その後~中小企業事業主としての実務
- ・講師：村田晴美氏 (村田晴美事務所・社会保険労務士)



## 2. 人材の確保・育成事業（2号事業）

能力開発推進事業（経営革新・環境委員会）

東京都中央・城北職業能力開発推進協議会において、都立技術専門校の人材育成（生徒のインターンシップへの協力、日本版デュアルシステムの紹介、ジョブ・カード制度の紹介等）と、業界内の研修について検討を行った。

東京都立職業能力開発センター、各種学校等との協調

（経営革新・環境委員会、Web戦略委員会）

印刷業界の要求に応えられる雇用の協力と、インターンシップの受け入れ、業界内における人材の再教育（向上訓練）を、都立中央・城北職業能力開発センター（旧・飯田橋技術専門校）等と協調して行った。各種セミナーの実施については4号事業を参照。

<Web戦略委員会>

産学連携模索の一環として、機関誌「東京グラフィックス」の表紙に、東京デザイン専門学校ビジュアルデザイン科・グラフィックデザイン科の学生のデザインを採用した。

若年者雇用促進対策（経営革新・環境委員会）

労働市場が団塊世代の大量リタイアの影響で、中小企業にとって若手の採用は困難を極めている。業界としては東京都及び各種学校との連携を持って、採用の仕組みを構築しているが、希望する人材の確保はできていない。

また東京都中小企業団体中央会の若年者受入事業に協力し、会員企業における新卒社員雇用の調整、インターンシップ、日本版デュアルシステムの紹介等、雇用促進に着手している。

高齢労働者の雇用対策（経営革新・環境委員会）

少子高齢化社会の中で、業界内高齢労働者に対して、平成19年度に取り組んだ65歳雇用導入プロジェクト事業を継承し、PRIMEDEX TOKYO 2008（9月18日～20日 / サンシャインシティ・コンベンションセンター）の会場において、パンフレット・資料配布、パネル展示等の啓発活動を行った。

「印刷の基礎知識」テキストの発行（経営革新・環境委員会）

「これだけは知っておきたい印刷の基礎知識」の改訂版の発行を検討し、平成21年度にダウンロード版の発行を行う予定。

## 3. 都民への印刷技術の普及・啓発事業（3号事業）

都民・エンドユーザーへの印刷技術に関する啓発事業（総務委員会）

「PRIMEDEX TOKYO 2008」（9月18日～20日 / サンシャインシティ・コンベンシ

ョンセンター)の「印刷ビジネス交流フェア」に出展し、都民および関連業界向けに「グラフィックサービス工業」を紹介し、印刷・情報サービス技術に関する啓発を行った。

エンドユーザー向け「印刷なんでも相談」の支援の一環として、都民からの印刷に関する相談・問い合わせについては事務局が対応した。

また、「暑中見舞ハガキ印刷承り」「年賀状印刷承り」の店頭掲示用ポスターを、製作し、会員に配布した。

東京グラフィックスが所有する、印刷関連書籍・資料については、求めに応じて一般公開した。

このほか、都民向けに「グラフィックサービス工業」および印刷・情報サービス技術に関する情報を、ホームページに掲載して公開した。

#### 月刊「東京グラフィックス」誌の発行（Web 戦略委員会）

機関誌・月刊「東京グラフィックス」4月号から3月号まで（第47巻577号～589号、582号は臨時増刊）13号を発行した。会員、非会員、関連業界、および都民に対して、業界活動や、印刷関連技術および経営等の情報を広報した。

#### 東京グラフィックサービス工業会の宣伝広報活動（総務委員会）

東京グラフィックス・ホームページで、東京グラフィックスの団体および事業紹介、公益法人としての情報公開等、広報した。

「PRIMEDEX TOKYO 2008」に出展し、東京グラフィックサービス工業会および産業としてのグラフィックサービス工業について、都民および関連業界向けのリーフレットを配布して、広報した。

中央地域においては、中央区産業文化展（へそ展＝11月2日～5日/晴海トリトンスクエア）において、ブースを構えて、来場者に広報した。特に中央地域会員企業のPRツール「制作会社と印刷会社・お探しハンドブック」を作成し、同会場で配布するとともに、地域の商工団体に配布して、PRを行った。

文京地域においては、文京区博覧会（ぶんぱく＝11月8日～10日/文京シビックセンター）において、ブースを構えて、来場者に広報した。

#### 組織の拡充（総務委員会）

組織の拡充に努めたが、平成20年度の新規入会は22社、退会は48社、3月31日現在の正会員数は432社となった。新規入会の促進はもちろん、退会防止については、会員相互の密な交流や明確な会員メリットの提供が重要である旨が再確認された。

総務委員会主催の賛助会員懇談会を11月14日（金）、九段会館において開催した。賛助会員42人、東京グラフィックス理事・総務委員ら25人が参加した。賛助会員へ東京グラフィックスの取り組みや事業について報告・説明するとともに、組織拡大・事業への協力を要請した。

なお、今期は加入促進策として、新入会員の入会費は免除した。また新春賀詞交歓会に

新入会員 5 社を無料招待した。

ホームページの更新・運用（Web 戦略委員会、各委員会）

改革プロジェクトからの要望を受けて、東京グラフィックス・ホームページの改良を、随時行っている。各種コンテンツの提供をはじめ、カレンダー、グラフィックニュース、セミナー・講習会案内、イベント情報等は、事務局によって日々更新されている。引き続き、コンテンツの充実と使い勝手の向上を目指している。

また、毎週水曜日には、会員向け e-mail ニュースを事務局から発信し、タイムリーできめ細かな情報提供に努めている。

ジャグラ BB の活用（Web 戦略委員会、各委員会）

ジャグラのインターネット放送「ジャグラ BB」の 1 社一律 500 円（月額）の分担金について、東京グラフィックスでは会員の分担金を全額負担するとともに、会員への PR を行って視聴を勧めた。

#### 4. 講習・研修会事業（4 号事業）

営業マン育成事業（次世代事業委員会）

都立中央・城北職業能力開発センターと協調して、会員企業の印刷営業マン（新人・若手社員）向けの研修会を開催した。

- ・フレッシュマンステップアップ講座（7 月 1 日～7 月 17 日・延べ 6 日間 / 会場：同センター / 講師：小早川亨氏 = 同校講師、田中信一氏 = (株) ビジネスコミュニケーション研究所代表取締役、田村まみこ氏 = 同校講師、広国くみこ氏 = カラリスト、山口博康氏 = マネジメントコンサルタント / 受講者 28 人）

各種オペレーター育成事業（次世代事業委員会）

都立中央・城北職業能力開発センターと協調して、会員企業のプリプレスおよび印刷・製本担当者の資質向上と新技術の習得を目的とした、各種セミナーを開催した。年々、受講者が減少傾向にあるため、講習内容の見直し・周知の徹底が求められる。

- ・パソコン初級 Word & Excel 入門（5 月 13 日～5 月 29 日・延べ 6 日間 / 会場：同センター / 東京都講師 / 受講者 5 人）
- ・InDesign による組版作業（6 月 3 日～6 月 24 日・延べ 4 日間 / 会場：同センター / 東京都講師 / 受講者 3 人）
- ・カラーDTP（6 月 10 日～8 月 7 日・延べ 18 日間 / 会場：同センター / 東京都講師 / 受講者 2 人）
- ・デジタル編集初級（7 月 8 日～225 日・延べ 6 日間 / 会場：同センター / 東京都講師 / 受講者 4 人）
- ・デジタル編集初級 WindowsDTP（7 月 8 日～7 月 25 日・延べ 6 日間 / 会場：同センター / 東京都講師 / 受講者 1 人）

- ・デジタル図形作成（9月25日～10月14日・延べ6日間／会場：同センター／東京都講師／受講者2人）
- ・デジタル画像編集（10月1日～10月10日・延べ6日間／会場：同センター／東京都講師／受講者1人）
- ・DTP・印刷基礎：デジタルカメラデータを利用したカラー印刷の基礎知識（10月6日～10月24日・延べ6日間／会場：同センター／講師：小早川亨氏ほか東京都講師／受講者12人）
- ・カラーDTP実践（11月11日～11月27日・延べ6日間／会場：同センター／東京都講師／受講者6人）
- ・カラーDTP（1月13日～3月12日・延べ18日間／会場：同センター／東京都講師／受講者2人）
- ・カラー印刷基礎（Windows DTP編）：DTPからデジタル色校正・CTP出力～カラー印刷まで（1月14日～1月30日・延べ6日間／会場：同センター／講師：東京都講師／受講者13人）
- ・カラーDTP知識中級（1月27日～2月13日・延べ6日間／会場：同センター／東京都講師／受講者1人）

#### 技術セミナーの開催（次世代事業委員会）

次世代事業委員会が所管する、青年部『次世代の会』全体会議の前段で、技術セミナーを2本立てで開催した。概要は、機関誌「東京グラフィックス」8月号で紹介した。

- ・7月9日（水）／ニッケイビル8階会議室／参加者30人
- ・テーマ：インクジェット方式におけるPODの新提案／印刷ビジネスにおける近未来モデル
- ・講師：市村直行氏（株山櫻）／笹岡誠氏（有ドウ・プラン）

#### 経営セミナーの開催（次世代事業委員会）

経営幹部セミナーを開催した。内容は、機関誌「東京グラフィックス」12月号、1月号で紹介した。

- ・11月13日（木）／井門小伝馬町ビル会議室／参加25人
- ・テーマ：決算書を根拠にした経営管理手法とは
- ・講師：三尾隆志氏（三尾会計事務所）
- ・後援：東京商工会議所中小企業相談センター

## 5. 公害防止・リサイクル等事業（5号事業）

#### 各種公害防止対策事業（経営革新・環境委員会）

地球環境保全の啓発パンフレット「STOP！地球温暖化 わたしたちは地球防衛軍」を作成し、会員企業ならびにエンドユーザーに配布して、印刷業の環境対応策をPRした。

環境破壊の現状を分かりやすく分析し、印刷業としてできる環境対応策を提起、また環境対応チェックリストや、自社のCO<sub>2</sub>排出量を簡単に算出できるチャートも掲載した。

PRIMEDEX TOKYO 2008（9月18日～20日/サンシャインシティ・コンベンションセンター）の会場において同パンフレットの配布とパネル展示を行い、啓発活動を行った。

機関誌「東京グラフィックス」2月号に、「環境特集・VOC削減を目指して」をテーマに特集記事を掲載し、「東京都におけるVOC対策等について」（東京都環境局）、および「中小グラフィックサービス企業も行える具体的なVOC対策」「東京都VOC対策アドバイザーの派遣」を紹介した。

#### ゴミ、資源リサイクル対策事業（経営革新・環境委員会）

政府の特定調達品目「印刷製品」に、グリーン購入法に基づく用紙・インキ・加工のリサイクル適正を示すランクリストの添付を義務付ける動きを受けて、リサイクル対応型印刷物に関するセミナーを開催した。

- ・11月27日（木）/井門小伝馬町ビル/参加21人
- ・テーマ：リサイクル対応型印刷物のすすめ
- ・講師：奥山淳氏（株）コムデザイン）

#### 工場見学会（経営革新・環境委員会）

環境工場見学会として2月19日（木）、千代田支部と共催で中央防波堤埋立処分場と水の科学館の見学を行った。参加者は24人。

## 6. 関係機関との連絡・協力事業（6号事業）

#### 関係官庁、関係各機関との連絡・協力事業

##### <経済産業省>

個人情報保護法に基づき、認定個人情報保護団体として、一般消費者・都民・関係者からの苦情・相談業務を行っているが、今期は相談のみ（件数は10件）で苦情処理はなかった。

なお、認定個人情報保護団体（経済産業省傘下13団体）と経済産業省・情報経済課との情報連絡会議が、3月17日に開催され、東京グラフィックスも参加した。

##### <東京労働局>

19年度に労働時間設定改善法に基づく『労働時間短縮プロジェクト』事業（1ヶ年事業）を東京労働局の委託を受けて実施し、所期の目標を達成したが、今年度はフォローアップとして、PR活動で、PRIMEDEX TOKYO 2008において当会ブースでパネル展示、パンフレット配布を行った。また機関誌2月号で専門委員を務めた原貴之氏（社会保険労務士）がこの1年間の総括を執筆、掲載しまとめとした。

<東京都>

産業労働局が中小企業施策を展開する上で中小企業団体（8団体）を平成21年2月12日に都庁会議室において説明会と意見交換を実施し、東京グラフィックスも参加した。

<東京都印刷産業団体協議会（東印産協）>

東印産協は、都内12団体+オブザーバー1団体で構成されている。環境・廃棄物委員会、情報セキュリティ委員会、tpi-net委員会の3委員会で活動している。環境問題では日印産連のグリーンプリンティング（GPマーク）制度のPR活動に加え、大気汚染防止法改正に伴うVOC対策を中心に東京都環境局との間で対応を進め、1月19日に東京都環境局化学物質対策課課長を招き、説明会を日本印刷会館にて開催した。その他の委員会では大きな動きはなかった。

## 7. その他の事業（7号事業）

「PRIMEDEX TOKYO 2008」への参画

9月18日から3日間、池袋サンシャインシティ・コンベンションセンターで開催された「PRIMEDEX TOKYO 2008」に、当会も実行委員会の構成団体として企画・運営に参画し、業界のみならず一般都民・消費者、学生の参加も呼び掛け、印刷・情報産業をPRした。

CG-ART展の実施

「PRIMEDEX TOKYO 2008」の企画の一環として隔年で当会が主管しているCG-ART展を実施した。一般都民・消費者、学生を対象に、コンピュータグラフィックスによる動画、静止画の作品を募集した。

【一般部門】 東京都知事賞（副賞10万円）：金森啓真（静止画）/東京都産業労働局長賞：竹内良貴（動画）/東京商工会議所会頭賞：知山裕一（動画）/東京都中小企業団体中央会会長賞：佐藤励（動画）/審査委員特別賞：岩本恵一郎（静止画）

【学生部門】 CG-ARTS協会理事長賞：佐藤愛（静止画）/PRIMEDEX協議会会長賞：森絵理（静止画）/審査員特別賞：山本茉莉（静止画）

平成21年新春賀詞交歓会（総務委員会）

新春賀詞交歓会は、1月14日（木）、千代田区のホテルメトロポリタンエドモントに300人の会員が集い、新春を祝った。

同時開催の新春講演会は、講師に田中均氏（財団法人日本国際交流センターシニアフェロー）を招き「激動の世界情勢と日本」のテーマで開催した。参加100人。